

子育て応援！



子育て支援センター

～ ことば ② ～

「赤ちゃんに話しかけてあげなさい」とよく聞きます。さて、何か特別な方法があるのかしら？

答えは「いいえ」です。パンツをはかせながら「はい、はけました」ご飯を食べさせながら「お口、あーん」世話をしながら話しかけたり、からだの動きに合わせてかけ声をかけたり、みんなごく普通にやっていることなんです。

そしてもう少し気をつけるのは…

① あいさつも大事なことばかけ
食事の時の「いただきます」「ごちそうさま」や「おはよう」「おやすみ」「こんにちは」「バイバイ」。周りの人がいつも言い合っていることばが自然なことばかけになっています。

② 擬声語、擬態語（ようすを表す言葉）をたくさん使う
ボール遊びで「コロコロ」物を運ぶとき「ヨイショ、ヨイショ」、ようすを表す言葉は繰り返しが多くリズム感があるので、覚えやすくなめしやすいものです。

③ 動作の始めや終わりにことばをかけて区切りをつける

パンツをはく時「ほら、パンツ。」はけたら「はい、はけた。」食事の前に「ごはんよ。おもちゃをかたづけよう。」動作の「始め」と「終わり」に区切りをつける話しかけをしましょう。頭の中で自分で区切りをつけてゆく力を育てて自立への第一歩につながります。

